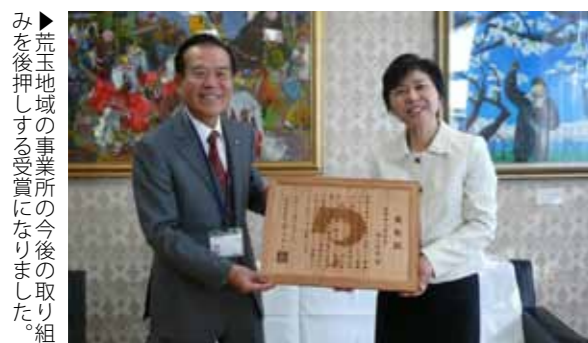


11/21 鴻江病院が受賞を市長に報告
～熊本県男女共同参画推進事業者表彰～



▶荒玉地域の事業所の今後の取り組みを後押しする受賞になりました。

鴻江病院は、県から平成23年度男女共同参画推進事業者表彰を受けたことを前畑市長に報告しました。荒尾玉名地域の事業者が表彰を受けるのは、今回が初めてです。

同病院は数年前からワークライフバランスの向上を目指し、「仕事も家庭も大切にできる職場環境」づくりを進めています。報告に訪れた看護部長の井口美幸さんは、「病院にとって、人材が一番大切。長く勤めてもらえる工夫をしました。表彰はとてうれしい」と語りました。

11/22 市内小学校から2人が受賞
～第71回科学展～



▶左から、山本さん、前畑市長、北野さん。研究成果を披露しました。

県や県教育委員会などが主催する平成23年度第71回科学展において、本市の北野真衣さん(八幡小学校4年)が熊本県賞(最高賞)、山本未来さん(清里小学校6年)が優秀賞を受賞しました。

北野さんは3年生から続けているダンゴムシに関する観察研究を、山本さんは夏の節電に関する実験研究を夏休み中に行い、それぞれの学校の代表として出品しました。

熊本県賞を受賞した北野さんの研究は、県の代表として全国大会に出品されます。

11/27 天まで上がれ!手づくりだこ
～第8回あらお風あげ大会～



▶風が少なく、大苦戦。それでも楽しくたこあげを楽しみました。

第8回あらお風あげ大会は浄水センター多目的広場で開催され、親子連れなど約300人が参加しました。

主催の二小元気会では、手づくりの楽しみを知ってもらうために事前にたこ作り教室を行いました。子どもたちは自分で作ったたこを、家族と一緒に晴天の空にあげました。

また、フリーマーケットや、幼稚園と保育園の園児によるダンスなどのアトラクションも行われ、参加した人は笑顔で過ごしていました。

11/27 まちを知り絆深まるウォーキング
～第6回平井校区歴史探訪ウォーキング～



▶瑞穂寮に立ち寄り、焼き芋やミカン、お茶で休憩しました。

平井校区社会教育連業協議会主催の「第6回歴史探訪ウォーキング」が開催されました。平井校区元気づくり委員会が平井地区に眠っている文化財を調査し、地区の歴史を肌で感じてもらうと、社教連と共に企画したものです。

ウォーキングの各ポイントにはクイズが準備され、正解に応じて商品が準備されました。また、道中は地元の人がお茶などを振る舞い、交流が深まる取り組みとなっています。晩秋の平井地区は、参加した人の笑顔であふれていました。

11/26 荒尾を美しいまちにしよう
2030あらお有明優都戦略事業 ～花植え～



▶家族でコミュニケーションを取りながら、1本1本花を植えました。

花のある美しい荒尾にしようと、県道平山荒尾線の宮内交差点から東へ約1.8kmの区間、通称グリーンアベニュー通りにノースポールの花の苗、約2,000株を植えました。

子どもや大人約60人が参加したこの事業は、2030あらお有明優都戦略の住みたいまちプロジェクトの一環として、市内幹線道路に花や木を植え、魅力あるまちづくりを目指すものです。参加者はスコップなどを用いて道路沿いの植樹帯へ一株ずつ丁寧に植えていきました。

11/26 発明クラブ、2年連続の快挙!
～荒尾少年少女発明クラブ 全国大会へ～



▶左から、中山さん、宇野さん、田端さん。ハイブリッドカーを手にして。

東京工業大学(東京都目黒区)で開催された「第2回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」全国大会に、県代表として荒尾少年少女発明クラブの宇野諒也さん、中山航季さん、田端太一さん(いずれも荒尾海陽中学校1年)が出場しました。同大会は、モーターとゴム動力で動くハイブリッドカーをチームで工夫して制作し、走行距離やデザインを競う大会です。

荒尾少年少女発明クラブからは、昨年に引き続きの全国大会出場となりました。

12/3 誰もが住みやすい世の中を目指して
～2011荒尾市人権フェスティバル～



▶真剣な発表に、会場からはたくさん拍手が送られました。

文化センターで、2011荒尾市人権フェスティバルを開催しました。手話ダンスひびきと桜ゆりかご会の合唱で幕が開きました。

緑ヶ丘小学校の児童は家の人の仕事を調べ感謝の気持ちを発表し、清里小学校の児童はきずなをテーマに、東日本大震災を受けて、きずなの大切さを劇や作文で発表しました。また震災後、ラジオから流れ全国の人が勇気付けられた曲「アンパンマンのマーチ」を合唱しました。会場は手拍子を打って一体となりました。

12/7 荒尾の木「小袋松」をお手入れ
～小袋松保存会松の芽摘み～



▶文化センターの正面入り口付近、南側駐車場への通路の側です。

文化センターで小袋松の剪定会が行われました。剪定を行ったのは小袋松保存会の皆さんです。同会は、幹の表面に独特の美しい模様を持っていて荒尾市の木に制定されている小袋松を守るための活動をしています。

今回剪定した小袋松は、荒尾市市制施行50周年を記念して植樹されたもので、剪定後には見事な枝ぶりに生まれ変わりました。文化センターにお越しの際はご覧ください。小袋松保存会では随時、会員の募集も受け付けています。